

事業 013	事務事業名	コミュニティバス運行費				担当部署	部名	市民環境部	
		-----					課名	生活安全課	
						電話	52 - 7966		
総合計画	施策の大綱	第4部 快適で安心して暮らせるまち			予算科目	会計	一般会計	款	総務費
	政策名(章)	第2章 快適で利便性の高いまちづくり						項	総務管理費
	施策名(節)	第3節 公共交通網の整備						目	地域交通対策費
事業開始・終了年度		平成 17 年度		~		平成 - 年度			
根拠法令・要綱等		道路運送法							
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	16	頁	個別計画			

事業目的	対象 (誰を・何を)	全市民
	意図 (どのような状態に)	市民の移動手段の確保
事業内容	手段 (どのような方法で)	・バス事業者に運行を委託

成果指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度			H22年度 目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	コミュニティバス利用者数	人	418982	420000	404539	96.3	405000	410000	

活動指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度			H22年度 目標
				目標	実績	達成率	
	利用率の低い地域における利用増を目的としたPR	回	3	20	20	100.0	5

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業コスト	直接事業費		232,917 千円	223,968 千円	3.8
財源内訳	人件費		6,900 千円	6,800 千円	1.4	6,800 千円
	退職手当引当金相当額		1,000 千円	1,000 千円	0.0	1,000 千円
	事業コスト計		240,817 千円	231,768 千円	3.8	240,300 千円
	国県支出金		18,832 千円	19,639 千円	4.3	23,893 千円
	その他		0 千円	0 千円		0 千円
	一般財源		221,985 千円	212,129 千円	4.4	216,407 千円
当該事務従事職員数			1.69 人	1.76 人	4.1	1.76 人

評価項目	点数	説明
必要性	3	高齢化が進む中、交通弱者の移動手段の確保のため必要
有効性	3	これまでの形態にこだわらず見直しを検討
達成度	4	利用率の低い地域において利用増を目的にPRを図った。
効率性	3	これまでの形態にこだわらず見直しを検討

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
C	各地区の生活実態に応じた運行方法への見直し

事業 014	補助金 の名称	LRTシステム整備費補助金				担当 部署	部名	市民環境部	
							課名	生活安全課	
						電話	52-7966		
総合 計画	施策の大綱	第4部 快適で安心して暮らせるまち			予 算 科 目	会 計	一般会計	款	総務費
	政策名(章)	第2章 快適で利便性の高いまちづくり						項	総務管理費
	施策名(節)	第3節 公共交通網の整備						目	地域交通対策費
補助期間		平成 14 年度 ~ 平成 22 年度							
根拠法令・要綱等		射水市補助金等交付規則							

事業 目的	対象 (交付先)	万葉線株式会社						
	意図 (補助目的)	市民の重要な交通手段である万葉線の維持、活性化及び利用者の利便性の向上						
事業 内容	手段 (主な活動)	・補助金の交付						
類 型 区 分		団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助			
		格差是正補助	利子補給	その他()				

成果 指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	万葉線利用者数	人	1140128	1150000	1150413	100.0

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度		
	(金額)	56,350 千円	(金額)	124,625 千円	(金額)	4,688 千円	
	(件数)	1 件	(件数)	1 件	(件数)	1 件	
	補助区分	内 容				上限額	
	定額補助	各年度の事業計画に基づく額				千円	
	定率補助					上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載	
その他							

評価項目	点数	説明
妥当性	4	市民の重要な交通手段であり維持が必要である。
有効性	4	万葉線の維持、活性化及び利用者の利便性の向上に貢献している。
効率性	4	必要かつ適正な範囲の額である。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	平成22年度で終了予定

事業 015	補助金の名称	輸送高度化設備整備費補助金				担当部署	部名	市民環境部	
							課名	生活安全課	
						電話	52-7966		
総合計画	施策の大綱	第4部 快適で安心して暮らせるまち			予算科目	会計	一般会計	款	総務費
	政策名(章)	第2章 快適で利便性の高いまちづくり						項	総務管理費
	施策名(節)	第3節 公共交通網の整備						目	地域交通対策費
補助期間		平成 14 年度			~		平成 年度		
根拠法令・要綱等		射水市補助金等交付規則							

事業目的	対象(交付先)	万葉線株式会社						
	意図(補助目的)	市民の重要な交通手段である万葉線の維持、活性化及び利用者の利便性の向上						
事業内容	手段(主な活動)	・補助金の交付						
類型区分		団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助			
		格差是正補助	利子補給	その他()				

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	万葉線利用者数	人	1140128	1150000	1150413	100.0

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度		
	(金額)	12,379 千円	(金額)	15,488 千円	(金額)	39,028 千円	
	(件数)	1 件	(件数)	1 件	(件数)	1 件	
	補助区分	内 容				上限額	
	定額補助	各年度の事業計画に基づく額				千円	
	定率補助					上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載	
その他							

評価項目	点数	説明
妥当性	4	市民の重要な交通手段であり維持が必要である。
有効性	4	万葉線の維持、活性化及び利用者の利便性の向上に貢献している。
効率性	4	必要かつ適正な範囲の額である。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	施設の整備、改善に継続した支援が必要

事業	補助金の名称	輸送高度化設備整備費補助金(補助対象外)				担当部署	部名	市民環境部	
016							課名	生活安全課	
							電話	52-7966	
総合計画	施策の大綱	第4部 快適で安心して暮らせるまち			予算科目	会計	一般会計	款	総務費
	政策名(章)	第2章 快適で利便性の高いまちづくり						項	総務管理費
	施策名(節)	第3節 公共交通網の整備						目	地域交通対策費
補助期間	平成 14 年度 ~ 平成 年度								
根拠法令・要綱等	射水市補助金等交付規則								

事業目的	対象(交付先)	万葉線株式会社						
	意図(補助目的)	市民の重要な交通手段である万葉線の維持、活性化及び利用者の利便性の向上						
事業内容	手段(主な活動)	・補助金の交付						
類型区分		団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助			
		格差是正補助	利子補給	その他()				

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	万葉線利用者数	人	1140128	1150000	1150413	100.0

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度		
	(金額)	4,000 千円	(金額)	2,667 千円	(金額)	2,667 千円	
	(件数)	1 件	(件数)	1 件	(件数)	1 件	
	補助区分	内 容				上限額	
	定額補助	各年度の事業計画に基づく額				千円	
定率補助	上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載						
その他							

評価項目	点数	説明
妥当性	4	市民の重要な交通手段であり維持が必要である。
有効性	4	万葉線の維持、活性化及び利用者の利便性の向上に貢献している。
効率性	4	必要かつ適正な範囲の額である。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)
A	施設の整備、改善に継続した支援が必要

事業 017	補助金の名称	万葉線運行費補助金(赤字補填分)				担当部署	部名	市民環境部	
							課名	生活安全課	
						電話	52-7966		
総合計画	施策の大綱	第4部 快適で安心して暮らせるまち			予算科目	会計	一般会計	款	総務費
	政策名(章)	第2章 快適で利便性の高いまちづくり						項	総務管理費
	施策名(節)	第3節 公共交通網の整備						目	地域交通対策費
補助期間		平成 14 年度 ~			平成		年度		
根拠法令・要綱等		射水市補助金等交付規則							

事業目的	対象(交付先)	万葉線株式会社						
	意図(補助目的)	市民の重要な交通手段である万葉線の維持、活性化及び利用者の利便性の向上						
事業内容	手段(主な活動)	・補助金の交付						
類型区分		団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助			
		格差是正補助	利子補給	その他()				

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	万葉線利用者数	人	1140128	1150000	1150413	100.0

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度				
	(金額)	23,500 千円	(金額)	23,250 千円	(金額)	23,500 千円			
	(件数)	1 件	(件数)	1 件	(件数)	1 件			
	補助区分	内 容				上限額			
	定額補助	各年度の事業費精算に基づく額				30,000 千円			
	定率補助					上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載			
その他									

評価項目	点数	説明
妥当性	4	市民の重要な交通手段であり維持が必要である。
有効性	4	万葉線の維持、活性化及び利用者の利便性の向上に貢献している。
効率性	4	必要かつ適正な範囲の額である。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)
A	運行の維持、活性化及び利用者の利便性の向上のため、継続した支援が必要